

閉会中の調査報告

福祉教育常任委員会

開催日：平成26年4月25日（金）午後1：30～5：10

出席者：常任委員会（松井副委員長、松山委員、植中委員、栗津委員、菅沼委員）及び望月議長

説明員：健康福祉部理事、子育て支援課長、教育部長、教育部理事、教育部次長

1) 湖南省の学童保育所の現状と課題について

4月25日、閉会中の調査として、福祉教育常任委員会で、放課後児童クラブ（学童保育所）の基準に関する国の動きと湖南省の現状等を担当課から説明を受けました。その後、岩根（はねっこクラブ）と菩提寺（みちくさクラブ）を現地踏査しました。

子ども・子育て支援新制度の施行までに、施設環境の整備、安全面への配慮、児童の発達段階に応じた自主的な生活や遊びの支援を行う放課後児童クラブの具体的な機能・役割について整理し、新たに作成するガイドライン等で明確化する必要があります。新たな参酌すべき基準として、児童の集団の規模は概ね40人までとし、児童1人当たり1.65㎡以上、静養スペースを設ける、等です。

湖南省は、国のH19年ガイドラインの基準です。放課後児童クラブにおける集団の規模については、概ね40人程度までとすることが望ましく、1放課後児童クラブの規模は、最大70人までとすること、という基準ですが、現在の登録児童は、下の表のとおりとなっています。

平成26年度 学童保育所

(人)

	石部	石部南	三雲	菩提寺	水戸	下田	菩提寺北	岩根	三雲東
登録児童数 (月平均)	45	48	54	81	70	39	23	50	60

岩根では土曜預かり保育の希望者も多く、指導員の数が足りないことや指導員の継続性がないのが課題です。

菩提寺では、児童数が多く、保育スペースが狭い状況が課題です。A班・・・大きい部屋に49人、B班・・・小さな部屋に32人、学年比、男女比等を考慮して2年間固定しているとのこと。高学年の子どもたちも多いというのは、みちくさ

クラブの特徴です。また、みちくさクラブから、大規模化解消のため「施設の分割・複数設置」に関する要望も出されました。

家庭に代わって、保護者と児童が安心できるあたたかい放課後の居場所として学童保育所は必要不可欠です。

指導員の資質向上は勿論ですが、指導員の労働条件の改善も必要だと感じました。

子どもたちの心身の状況に寄り添い、思いを受け止めて子どもの情緒の安定を図ることを求められています。長いスパンで、子どもとの信頼関係が築いていくことが大事となり、学童保育の果たすべき役割はますます重要となります。

